

3月14日(木) 18:30~



会場：Zoom 及び国労会館大会議室

誰でも参加できます。
Zoomでの参加の方は
前日までに連絡ください。

第186回定例研究会

日本医療総研「社会保障と運動の連携部会」 ヒアリング

報告：村田 隆史 氏（京都府立大学 准教授） 部会長
名嘉 圭太 氏（全国保険医団体連合会 事務局長）
磯野 博 氏（日本医療総研 協力研究員）

これからの企画

◆春のシンポジウム

日時… 4月21日(日) 13:30~
場所… 静岡労政会館&Zoom
内容… 「静岡県のジェンダー平等
～女性非正規労働者の組織化～」
(仮)
報告… 笹原 恵 氏 (静岡大学教授)

◆第187回定例研究会

日時… 5月16日(木) 18:30~
場所… 国労会館会議室&Zoom
内容… 「未定」
報告… 未定

「人権としての社会保障」を実現

本部会を設置した目的は、社会保障給付費削減を目的とした「改革」に対抗するため、理論的にも実践的にも「社会保障研究と運動の連携」に関する検討が迫られていることにある。例えば、社会保障や社会福祉に関する研究分野では、労働運動や社会運動に言及されることが少なくなっているし、「制度の改善に運動が寄与した」と積極的に評価する研究を「運動論的立場」と批判する研究者も存在する。また、運動団体の講演会や会合に参加する中で参加者の固定化や高齢化は顕著であり、運動団体の実践をいかに次世代につなげていくのかということが課題になっている。今日の社会保障「改革」に対抗し、「人権としての社会保障」を実現するための取り組みが必要になっている。

そのようななか、静岡県労働研究所は、現場の労働者と研究者が一体となった取り組みを長く継続している。とりわけ、色々な分野の報告者を招き、月例の定例会を欠かさないことは注目に値する。また、全国の運動に習い、生計費調査を最低賃金闘争に活かしていることも重要な取り組みである。これらに関して、参加者の忌憚ない意見を伺い、交流することを通して本部会の今後の研究&運動に活用させて頂きたい。

※連絡先：〒420-0851 静岡市葵区黒金町55番地 静岡交通ビル3階301号（静岡県評内）
静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

メール roudouadv@cy.tnc.ne.jp ホームページ <http://shizuokarouken.sakura.ne.jp/index.html>

3月14日(木) 18:30~



会場：Zoom 及び国労会館大会議室

誰でも参加できます。
Zoomでの参加の方は
前日までに連絡ください。

第186回定例研究会

日本医療総研「社会保障と運動の連携部会」 ヒアリング

報告：村田 隆史 氏（京都府立大学 准教授） 部会長
名嘉 圭太 氏（全国保険医団体連合会 事務局長）
磯野 博 氏（日本医療総研 協力研究員）

これからの企画

◆春のシンポジウム

日時… 4月21日(日) 13:30~
場所… 静岡労政会館&Zoom
内容… 「静岡県のジェンダー平等
～女性非正規労働者の組織化～」
(仮)
報告… 笹原 恵 氏 (静岡大学教授)

◆第187回定例研究会

日時… 5月16日(木) 18:30~
場所… 国労会館会議室&Zoom
内容… 「未定」
報告… 未定

「人権としての社会保障」を実現

本部会を設置した目的は、社会保障給付費削減を目的とした「改革」に対抗するため、理論的にも実践的にも「社会保障研究と運動の連携」に関する検討が迫られていることにある。例えば、社会保障や社会福祉に関する研究分野では、労働運動や社会運動に言及されることが少なくなっているし、「制度の改善に運動が寄与した」と積極的に評価する研究を「運動論的立場」と批判する研究者も存在する。また、運動団体の講演会や会合に参加する中で参加者の固定化や高齢化は顕著であり、運動団体の実践をいかに次世代につなげていくのかということが課題になっている。今日の社会保障「改革」に対抗し、「人権としての社会保障」を実現するための取り組みが必要になっている。

そのようななか、静岡県労働研究所は、現場の労働者と研究者が一体となった取り組みを長く継続している。とりわけ、色々な分野の報告者を招き、月例の定例会を欠かさないことは注目に値する。また、全国の運動に習い、生計費調査を最低賃金闘争に活かしていることも重要な取り組みである。これらに関して、参加者の忌憚ない意見を伺い、交流することを通して本部会の今後の研究&運動に活用させて頂きたい。

※連絡先：〒420-0851 静岡市葵区黒金町55番地 静岡交通ビル3階301号（静岡県評内）
静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

メール roudouadv@cy.tnc.ne.jp ホームページ <http://shizuokarouken.sakura.ne.jp/index.html>

3月14日(木) 18:30~



会場：Zoom 及び国労会館大会議室

誰でも参加できます。
Zoomでの参加の方は
前日までに連絡ください。

第186回定例研究会

日本医療総研「社会保障と運動の連携部会」 ヒアリング

報告：村田 隆史 氏（京都府立大学 准教授） 部会長
名嘉 圭太 氏（全国保険医団体連合会 事務局長）
磯野 博 氏（日本医療総研 協力研究員）

これからの企画

◆春のシンポジウム

日時… 4月21日(日) 13:30~
場所… 静岡労政会館&Zoom
内容… 「静岡県のジェンダー平等
～女性非正規労働者の組織化～」
(仮)
報告… 笹原 恵 氏 (静岡大学教授)

◆第187回定例研究会

日時… 5月16日(木) 18:30~
場所… 国労会館会議室&Zoom
内容… 「未定」
報告… 未定

「人権としての社会保障」を実現

本部会を設置した目的は、社会保障給付費削減を目的とした「改革」に対抗するため、理論的にも実践的にも「社会保障研究と運動の連携」に関する検討が迫られていることにある。例えば、社会保障や社会福祉に関する研究分野では、労働運動や社会運動に言及されることが少なくなっているし、「制度の改善に運動が寄与した」と積極的に評価する研究を「運動論的立場」と批判する研究者も存在する。また、運動団体の講演会や会合に参加する中で参加者の固定化や高齢化は顕著であり、運動団体の実践をいかに次世代につなげていくのかということが課題になっている。今日の社会保障「改革」に対抗し、「人権としての社会保障」を実現するための取り組みが必要になっている。

そのようななか、静岡県労働研究所は、現場の労働者と研究者が一体となった取り組みを長く継続している。とりわけ、色々な分野の報告者を招き、月例の定例会を欠かさないことは注目に値する。また、全国の運動に習い、生計費調査を最低賃金闘争に活かしていることも重要な取り組みである。これらに関して、参加者の忌憚ない意見を伺い、交流することを通して本部会の今後の研究&運動に活用させて頂きたい。

※連絡先：〒420-0851 静岡市葵区黒金町55番地 静岡交通ビル3階301号（静岡県評内）
静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

メール roudouadv@cy.tnc.ne.jp ホームページ <http://shizuokarouken.sakura.ne.jp/index.html>

3月14日(木) 18:30~



会場：Zoom 及び国労会館大会議室

誰でも参加できます。
Zoomでの参加の方は
前日までに連絡ください。

第186回定例研究会

日本医療総研「社会保障と運動の連携部会」 ヒアリング

報告：村田 隆史 氏（京都府立大学 准教授） 部会長
名嘉 圭太 氏（全国保険医団体連合会 事務局長）
磯野 博 氏（日本医療総研 協力研究員）

これからの企画

◆春のシンポジウム

日時… 4月21日(日) 13:30~
場所… 静岡労政会館&Zoom
内容… 「静岡県のジェンダー平等
～女性非正規労働者の組織化～」
(仮)
報告… 笹原 恵 氏 (静岡大学教授)

◆第187回定例研究会

日時… 5月16日(木) 18:30~
場所… 国労会館会議室&Zoom
内容… 「未定」
報告… 未定

「人権としての社会保障」を実現

本部会を設置した目的は、社会保障給付費削減を目的とした「改革」に対抗するため、理論的にも実践的にも「社会保障研究と運動の連携」に関する検討が迫られていることにある。例えば、社会保障や社会福祉に関する研究分野では、労働運動や社会運動に言及されることが少なくなっているし、「制度の改善に運動が寄与した」と積極的に評価する研究を「運動論的立場」と批判する研究者も存在する。また、運動団体の講演会や会合に参加する中で参加者の固定化や高齢化は顕著であり、運動団体の実践をいかに次世代につなげていくのかということが課題になっている。今日の社会保障「改革」に対抗し、「人権としての社会保障」を実現するための取り組みが必要になっている。

そのようななか、静岡県労働研究所は、現場の労働者と研究者が一体となった取り組みを長く継続している。とりわけ、色々な分野の報告者を招き、月例の定例会を欠かさないことは注目に値する。また、全国の運動に習い、生計費調査を最低賃金闘争に活かしていることも重要な取り組みである。これらに関して、参加者の忌憚ない意見を伺い、交流することを通して本部会の今後の研究&運動に活用させて頂きたい。

※連絡先：〒420-0851 静岡市葵区黒金町55番地 静岡交通ビル3階301号（静岡県評内）
静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

メール roudouadv@cy.tnc.ne.jp ホームページ <http://shizuokarouken.sakura.ne.jp/index.html>

3月14日(木) 18:30~



会場：Zoom 及び国労会館大会議室

誰でも参加できます。
Zoomでの参加の方は
前日までに連絡ください。

第186回定例研究会

日本医療総研「社会保障と運動の連携部会」 ヒアリング

報告：村田 隆史 氏（京都府立大学 准教授） 部会長
名嘉 圭太 氏（全国保険医団体連合会 事務局長）
磯野 博 氏（日本医療総研 協力研究員）

これからの企画

◆春のシンポジウム

日時… 4月21日(日) 13:30~
場所… 静岡労政会館&Zoom
内容… 「静岡県のジェンダー平等
～女性非正規労働者の組織化～」
(仮)
報告… 笹原 恵 氏 (静岡大学教授)

◆第187回定例研究会

日時… 5月16日(木) 18:30~
場所… 国労会館会議室&Zoom
内容… 「未定」
報告… 未定

「人権としての社会保障」を実現

本部会を設置した目的は、社会保障給付費削減を目的とした「改革」に対抗するため、理論的にも実践的にも「社会保障研究と運動の連携」に関する検討が迫られていることにある。例えば、社会保障や社会福祉に関する研究分野では、労働運動や社会運動に言及されることが少なくなっているし、「制度の改善に運動が寄与した」と積極的に評価する研究を「運動論的立場」と批判する研究者も存在する。また、運動団体の講演会や会合に参加する中で参加者の固定化や高齢化は顕著であり、運動団体の実践をいかに次世代につなげていくのかということが課題になっている。今日の社会保障「改革」に対抗し、「人権としての社会保障」を実現するための取り組みが必要になっている。

そのようななか、静岡県労働研究所は、現場の労働者と研究者が一体となった取り組みを長く継続している。とりわけ、色々な分野の報告者を招き、月例の定例会を欠かさないことは注目に値する。また、全国の運動に習い、生計費調査を最低賃金闘争に活かしていることも重要な取り組みである。これらに関して、参加者の忌憚ない意見を伺い、交流することを通して本部会の今後の研究&運動に活用させて頂きたい。

※連絡先：〒420-0851 静岡市葵区黒金町55番地 静岡交通ビル3階301号（静岡県評内）
静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

メール roudouadv@cy.tnc.ne.jp ホームページ <http://shizuokarouken.sakura.ne.jp/index.html>

3月14日(木) 18:30~



会場：Zoom 及び国労会館大会議室

誰でも参加できます。
Zoomでの参加の方は
前日までに連絡ください。

第186回定例研究会

日本医療総研「社会保障と運動の連携部会」 ヒアリング

報告：村田 隆史 氏（京都府立大学 准教授） 部会長
名嘉 圭太 氏（全国保険医団体連合会 事務局長）
磯野 博 氏（日本医療総研 協力研究員）

これからの企画

◆春のシンポジウム

日時… 4月21日(日) 13:30~
場所… 静岡労政会館&Zoom
内容… 「静岡県のジェンダー平等
～女性非正規労働者の組織化～」
(仮)
報告… 笹原 恵 氏 (静岡大学教授)

◆第187回定例研究会

日時… 5月16日(木) 18:30~
場所… 国労会館会議室&Zoom
内容… 「未定」
報告… 未定

「人権としての社会保障」を実現

本部会を設置した目的は、社会保障給付費削減を目的とした「改革」に対抗するため、理論的にも実践的にも「社会保障研究と運動の連携」に関する検討が迫られていることにある。例えば、社会保障や社会福祉に関する研究分野では、労働運動や社会運動に言及されることが少なくなっているし、「制度の改善に運動が寄与した」と積極的に評価する研究を「運動論的立場」と批判する研究者も存在する。また、運動団体の講演会や会合に参加する中で参加者の固定化や高齢化は顕著であり、運動団体の実践をいかに次世代につなげていくのかということが課題になっている。今日の社会保障「改革」に対抗し、「人権としての社会保障」を実現するための取り組みが必要になっている。

そのようななか、静岡県労働研究所は、現場の労働者と研究者が一体となった取り組みを長く継続している。とりわけ、色々な分野の報告者を招き、月例の定例会を欠かさないことは注目に値する。また、全国の運動に習い、生計費調査を最低賃金闘争に活かしていることも重要な取り組みである。これらに関して、参加者の忌憚ない意見を伺い、交流することを通して本部会の今後の研究&運動に活用させて頂きたい。

※連絡先：〒420-0851 静岡市葵区黒金町55番地 静岡交通ビル3階301号（静岡県評内）
静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

メール roudouadv@cy.tnc.ne.jp ホームページ <http://shizuokarouken.sakura.ne.jp/index.html>

3月14日(木) 18:30~



会場：Zoom 及び国労会館大会議室

誰でも参加できます。
Zoomでの参加の方は
前日までに連絡ください。

第186回定例研究会

日本医療総研「社会保障と運動の連携部会」 ヒアリング

報告：村田 隆史 氏（京都府立大学 准教授） 部会長
名嘉 圭太 氏（全国保険医団体連合会 事務局長）
磯野 博 氏（日本医療総研 協力研究員）

これからの企画

◆春のシンポジウム

日時… 4月21日(日) 13:30~
場所… 静岡労政会館&Zoom
内容… 「静岡県のジェンダー平等
～女性非正規労働者の組織化～」
(仮)
報告… 笹原 恵 氏 (静岡大学教授)

◆第187回定例研究会

日時… 5月16日(木) 18:30~
場所… 国労会館会議室&Zoom
内容… 「未定」
報告… 未定

「人権としての社会保障」を実現

本部会を設置した目的は、社会保障給付費削減を目的とした「改革」に対抗するため、理論的にも実践的にも「社会保障研究と運動の連携」に関する検討が迫られていることにある。例えば、社会保障や社会福祉に関する研究分野では、労働運動や社会運動に言及されることが少なくなっているし、「制度の改善に運動が寄与した」と積極的に評価する研究を「運動論的立場」と批判する研究者も存在する。また、運動団体の講演会や会合に参加する中で参加者の固定化や高齢化は顕著であり、運動団体の実践をいかに次世代につなげていくのかということが課題になっている。今日の社会保障「改革」に対抗し、「人権としての社会保障」を実現するための取り組みが必要になっている。

そのようななか、静岡県労働研究所は、現場の労働者と研究者が一体となった取り組みを長く継続している。とりわけ、色々な分野の報告者を招き、月例の定例会を欠かさないことは注目に値する。また、全国の運動に習い、生計費調査を最低賃金闘争に活かしていることも重要な取り組みである。これらに関して、参加者の忌憚ない意見を伺い、交流することを通して本部会の今後の研究&運動に活用させて頂きたい。

※連絡先：〒420-0851 静岡市葵区黒金町55番地 静岡交通ビル3階301号（静岡県評内）
静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

メール roudouadv@cy.tnc.ne.jp ホームページ <http://shizuokarouken.sakura.ne.jp/index.html>

3月14日(木) 18:30~



会場：Zoom 及び国労会館大会議室

誰でも参加できます。
Zoomでの参加の方は
前日までに連絡ください。

第186回定例研究会

日本医療総研「社会保障と運動の連携部会」 ヒアリング

報告：村田 隆史 氏（京都府立大学 准教授） 部会長
名嘉 圭太 氏（全国保険医団体連合会 事務局長）
磯野 博 氏（日本医療総研 協力研究員）

これからの企画

◆春のシンポジウム

日時… 4月21日(日) 13:30~
場所… 静岡労政会館&Zoom
内容… 「静岡県のジェンダー平等
～女性非正規労働者の組織化～」
(仮)
報告… 笹原 恵 氏 (静岡大学教授)

◆第187回定例研究会

日時… 5月16日(木) 18:30~
場所… 国労会館会議室&Zoom
内容… 「未定」
報告… 未定

「人権としての社会保障」を実現

本部会を設置した目的は、社会保障給付費削減を目的とした「改革」に対抗するため、理論的にも実践的にも「社会保障研究と運動の連携」に関する検討が迫られていることにある。例えば、社会保障や社会福祉に関する研究分野では、労働運動や社会運動に言及されることが少なくなっているし、「制度の改善に運動が寄与した」と積極的に評価する研究を「運動論的立場」と批判する研究者も存在する。また、運動団体の講演会や会合に参加する中で参加者の固定化や高齢化は顕著であり、運動団体の実践をいかに次世代につなげていくのかということが課題になっている。今日の社会保障「改革」に対抗し、「人権としての社会保障」を実現するための取り組みが必要になっている。

そのようななか、静岡県労働研究所は、現場の労働者と研究者が一体となった取り組みを長く継続している。とりわけ、色々な分野の報告者を招き、月例の定例会を欠かさないことは注目に値する。また、全国の運動に習い、生計費調査を最低賃金闘争に活かしていることも重要な取り組みである。これらに関して、参加者の忌憚ない意見を伺い、交流することを通して本部会の今後の研究&運動に活用させて頂きたい。

※連絡先：〒420-0851 静岡市葵区黒金町55番地 静岡交通ビル3階301号（静岡県評内）
静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

メール roudouadv@cy.tnc.ne.jp ホームページ <http://shizuokarouken.sakura.ne.jp/index.html>

3月14日(木) 18:30~



会場：Zoom 及び国労会館大会議室

誰でも参加できます。
Zoomでの参加の方は
前日までに連絡ください。

第186回定例研究会

日本医療総研「社会保障と運動の連携部会」 ヒアリング

報告：村田 隆史 氏（京都府立大学 准教授） 部会長
名嘉 圭太 氏（全国保険医団体連合会 事務局長）
磯野 博 氏（日本医療総研 協力研究員）

これからの企画

◆春のシンポジウム

日時… 4月21日(日) 13:30~
場所… 静岡労政会館&Zoom
内容… 「静岡県のジェンダー平等
～女性非正規労働者の組織化～」
(仮)
報告… 笹原 恵 氏 (静岡大学教授)

◆第187回定例研究会

日時… 5月16日(木) 18:30~
場所… 国労会館会議室&Zoom
内容… 「未定」
報告… 未定

「人権としての社会保障」を実現

本部会を設置した目的は、社会保障給付費削減を目的とした「改革」に対抗するため、理論的にも実践的にも「社会保障研究と運動の連携」に関する検討が迫られていることにある。例えば、社会保障や社会福祉に関する研究分野では、労働運動や社会運動に言及されることが少なくなっているし、「制度の改善に運動が寄与した」と積極的に評価する研究を「運動論的立場」と批判する研究者も存在する。また、運動団体の講演会や会合に参加する中で参加者の固定化や高齢化は顕著であり、運動団体の実践をいかに次世代につなげていくのかということが課題になっている。今日の社会保障「改革」に対抗し、「人権としての社会保障」を実現するための取り組みが必要になっている。

そのようななか、静岡県労働研究所は、現場の労働者と研究者が一体となった取り組みを長く継続している。とりわけ、色々な分野の報告者を招き、月例の定例会を欠かさないことは注目に値する。また、全国の運動に習い、生計費調査を最低賃金闘争に活かしていることも重要な取り組みである。これらに関して、参加者の忌憚ない意見を伺い、交流することを通して本部会の今後の研究&運動に活用させて頂きたい。

※連絡先：〒420-0851 静岡市葵区黒金町55番地 静岡交通ビル3階301号（静岡県評内）
静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

メール roudouadv@cy.tnc.ne.jp ホームページ <http://shizuokarouken.sakura.ne.jp/index.html>

3月14日(木) 18:30~



会場：Zoom 及び国労会館大会議室

誰でも参加できます。
Zoomでの参加の方は
前日までに連絡ください。

第186回定例研究会

日本医療総研「社会保障と運動の連携部会」 ヒアリング

報告：村田 隆史 氏（京都府立大学 准教授） 部会長
名嘉 圭太 氏（全国保険医団体連合会 事務局長）
磯野 博 氏（日本医療総研 協力研究員）

これからの企画

◆春のシンポジウム

日時… 4月21日(日) 13:30~
場所… 静岡労政会館&Zoom
内容… 「静岡県のジェンダー平等
～女性非正規労働者の組織化～」
(仮)
報告… 笹原 恵 氏 (静岡大学教授)

◆第187回定例研究会

日時… 5月16日(木) 18:30~
場所… 国労会館会議室&Zoom
内容… 「未定」
報告… 未定

「人権としての社会保障」を実現

本部会を設置した目的は、社会保障給付費削減を目的とした「改革」に対抗するため、理論的にも実践的にも「社会保障研究と運動の連携」に関する検討が迫られていることにある。例えば、社会保障や社会福祉に関する研究分野では、労働運動や社会運動に言及されることが少なくなっているし、「制度の改善に運動が寄与した」と積極的に評価する研究を「運動論的立場」と批判する研究者も存在する。また、運動団体の講演会や会合に参加する中で参加者の固定化や高齢化は顕著であり、運動団体の実践をいかに次世代につなげていくのかということが課題になっている。今日の社会保障「改革」に対抗し、「人権としての社会保障」を実現するための取り組みが必要になっている。

そのようななか、静岡県労働研究所は、現場の労働者と研究者が一体となった取り組みを長く継続している。とりわけ、色々な分野の報告者を招き、月例の定例会を欠かさないことは注目に値する。また、全国の運動に習い、生計費調査を最低賃金闘争に活かしていることも重要な取り組みである。これらに関して、参加者の忌憚ない意見を伺い、交流することを通して本部会の今後の研究&運動に活用させて頂きたい。

※連絡先：〒420-0851 静岡市葵区黒金町55番地 静岡交通ビル3階301号（静岡県評内）
静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

メール roudouadv@cy.tnc.ne.jp ホームページ <http://shizuokarouken.sakura.ne.jp/index.html>